

2. 企業集団の状況

最近の有価証券報告書(平成18年6月29日提出)における「事業の内容(事業系統図)」及び「関係会社の状況」から重要な変更がないため開示を省略します。

3. 経営方針

当社グループは、平成16年3月に「関西電力グループ経営ビジョン」を策定し、めざすべき企業像として掲げた「お客さま満足No. 1企業」の実現に向けて、さまざまな事業活動に取り組んでおります。

この経営ビジョンの実現に至る道筋をより明確にするため、当社グループは、このたび、おおむね10年先を見据え、「関西電力グループ中長期計画」をとりまとめました。具体的には、中長期的な視点から、当社グループ全体として事業経営の質を高めるとともに、グループの総合力を発揮し、さらに成長を押し上げる取組みを推進していく、そして、こうした取組みを効果的に進めるなかで、従業員の成長も促していくことといたしております。

現在、わが国経済、関西経済は、ともに堅調に推移しておりますが、エネルギー間競争は拡大し、エネルギーセキュリティの確保や地球環境問題への積極的な対応が、一層求められるようになっております。そうした経営環境のなか、当社は、本年2月に、美浜発電所3号機の本格運転を再開することができましたが、その一方で、発電設備に係るデータ改ざんなど、社会のみならずからの信頼を損ないかねない事例が判明いたしております。

こうした状況を踏まえ、中長期計画の初年度である平成19年度は、CSR(企業の社会的責任)を軸に、「安全最優先・お客さま価値の創造・人づくり」の3つのアクションプランに沿った取組みを展開していきたいと考えております。

特に、事業活動の根幹である安全確保については、美浜発電所3号機事故の教訓と反省を決して忘れることなく、地道な取組みを継続してまいります。あわせて、CSR活動の推進や、品質マネジメントシステムの効果的な活用などにより、適正に業務を遂行するとともに、企業価値を大きく毀損するリスクの発生を未然に防止してまいります。

また、安全最優先で、原子力を基軸に最適な電源構成を築き、効率的で高品質な電力流通設備を維持運営することなどにより、電力の安全・安定供給の使命を果たしてまいります。

加えて、総合エネルギーをはじめ、情報通信、生活アメニティ、海外電気事業などの分野においても、グループの総合力を存分に発揮して、高品質で、環境にも優しい商品やサービスをご提供・ご提案し、さらなるお客さま価値の創造に努めてまいります。

さらに、すべての取組みの原動力である従業員一人ひとりの成長を支えるしくみづくりにも、引き続き注力してまいります。

当社グループはこのような取組みを通じまして、「お客さま満足No. 1企業」の実現に向けて、これからも力強く前進してまいりたいと考えております。

アクションプランで掲げた取組みを確実に遂行することにより、当社グループは、グループ一体となって持続的な成長を図りますが、一方で、成長を支える財務基盤の強化にも注力していかねなければなりません。

そのため、財務体質強化のための指標として、連結自己資本比率および連結有利子負債残高の2つを掲げ、財務体質の強化に取り組んでまいります。

連結自己資本比率	30%程度(平成19年度末目標)
連結有利子負債残高	3.0兆円程度(平成19年度末目標)